

株主のみなさまへ



第164期 報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

証券コード：4046

<http://www.osaka-soda.co.jp/>

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.osaka-soda.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

(ご注意)

- 1.株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

単元未満株式をお持ちの株主さまへ

当社は、1単元(100株)に満たない当社株式を所有されている株主さまの便宜を図るため、「単元未満株式の買増・買取制度」を実施しております。
お手続きなどの詳細に関しましては、証券会社にて株式を管理されている場合はお取引先の証券会社に、特別口座にて株式を管理されている場合は、三菱UFJ信託銀行にお問合せください。

当社グループをより知っていただくために、ホームページもご活用ください。

- 最新の情報はこちらでご覧いただけます。
ホームページアドレス
<http://www.osaka-soda.co.jp/>



トップ
ページ



本社 〒550-0011 大阪市西区阿波座1-12-18
TEL.06-6110-1560

Something **Better** with Chemicals

化学で笑顔を
育む会社

すごソーダ





代表取締役
社長執行役員
寺田 健志

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループは、第164期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の決算を行いましたので、ここに事業の概況についてご報告申し上げます。

2019年6月

第164期の業績概要

当期のわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続しているものの、米国の通商政策による貿易摩擦の激化や中国の景気悪化などにより、期後半から世界経済の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、本年度よりスタートさせた新中期経営計画「BRIGHT-2020」で、「新成長エンジンの創出」「海外収益基盤の確立」および「事業構造改革の完遂」を3つの基本方針として掲げ、利益重視の経営へのシフトをより一層進めてまいりました。

基礎化学品では、原燃料価格の変動に対応した価格は正に早期に取り組むとともに、自社開発の改良型電解槽導入などのコストダウンを進めてまいりました。

機能化学品では、「海外収益基盤の確立」に向けて合成ゴムおよび合成樹脂、アリルエーテル類などの主力製品のシェア拡大を図りつつ、新事業領域である液体クロマトグラフィー用カラム・装置事業の拡大、高薬理活性医薬品分野への参入、昨年度のアクリルゴムに続いて本年度よりノンフタレート型アリル樹脂「ラドパー」を上市するなど、「新成長エンジンの創出」を推進してまいりました。

また、事業構造改革の一環として、R&D本部と生産技術本部との連携により、当社の強みである基盤技術とIoT・AIを活用した、さらなる生産性の向上を目指し新たな取り組みを開始しました。

以上の結果、当連結会計年度の連結売上高は、1,078億7千4百万円と前期比6.6%の増加となりました。また、利益面におきましても、営業利益は94億8千8百万円と前期比29.7%の増加、経常利益は100億5千3百万円と前期比34.3%の増加、親会社株主に帰属する当期純利益は67億9千3百万円と前期比42.2%の増加となり、売上高、各利益とも過去最高を達成しました。

なお、期末配当金につきましては、1株あたり30円の予想から5円増額し、35円とさせていただきます。

今後の対処すべき課題

今後の経済見通しにつきましては、国内は、雇用および所得環境の改善を背景に緩やかに回復していくことが見込まれますが、景気下押しリスクとして、米国の通商政策による貿易摩擦の激化や中国の景気悪化、英国のEU離脱問題、国内においては消費税増税などが実体経済に影響を及ぼすと考えられ、引き続き先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような情勢のもと、当社グループは、第6次中期経営計画「BRIGHT-2020」の2年目を迎え、前年度からの取り組みをさらに加速させ、グループビジョンである「スペシャリティケミカルで新たな価値を創造する会社」の実現に向け戦略を推進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



OSAKA SODA

グループ企業理念

高い志をもち 独創的なものづくりで 豊かな社会の実現に貢献します

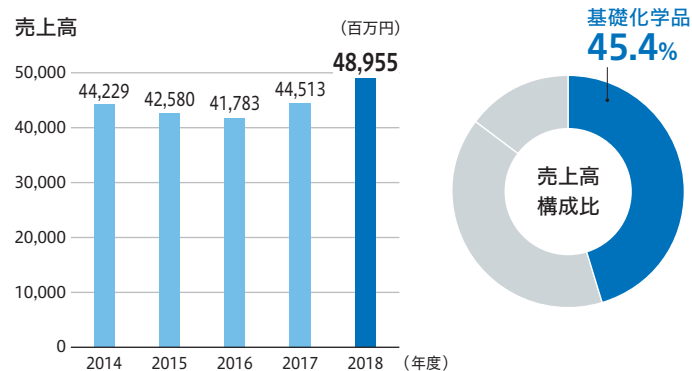
基礎化学品

売上高 **489億5千5百万円** 前期比**10.0%**増加 ↑

クロール・アルカリは、国内需要が堅調に推移するとともに、かせいソーダ等の価格改定を実施したため、売上高が増加しました。

エピクロルヒドリンは、国内向け販売が順調に推移するとともに、海外向けも販売価格が上昇したため、売上高が増加しました。

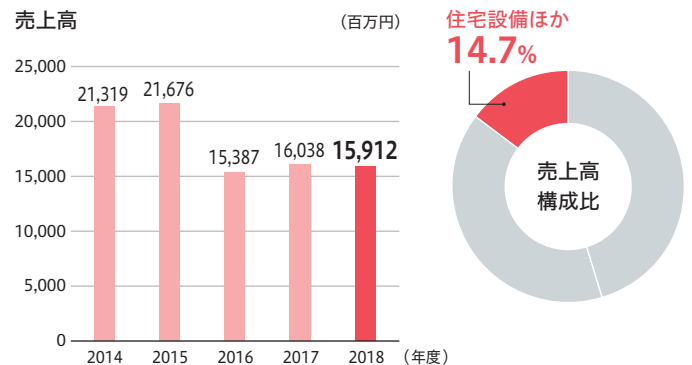
以上の結果、基礎化学品の売上高は489億5千5百万円と前期比10.0%の増加となりました。



住宅設備ほか

売上高 **159億1千2百万円** 前期比**0.8%**減少 ↓

化学プラントなどのエンジニアリング事業は国内で大型工事案件が増加しましたが、生活関連商品の需要が低調に推移したため、売上高は159億1千2百万円と前期比0.8%の減少となりました。



機能化学品

売上高 **430億5百万円** 前期比**5.7%**増加 ↑

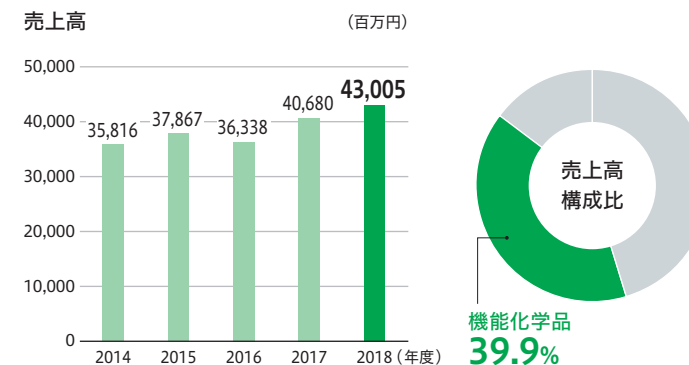
アリルエーテル類は、国内の新規用途や欧米のシランカップリング剤用途向けで販売数量が伸び、売上高は増加しました。

ダップ樹脂は、UVインキ用途を中心に国内およびアジア、米国向け販売が堅調に推移したため、売上高は増加しました。

合成ゴム関連は、エピクロルヒドリンゴムの国内でのハイブリッド車向けおよび新興国での環境規制対応にともなう需要が拡大したことに加え、アクリルゴムの国内外での新規採用が進んだため、売上高は増加しました。

医薬品精製材料は、欧州ならびに中国向けのバイオ医薬品精製用途向けが好調に推移したことに加え、液体クロマトグラフィー用カラム・分析事業では、国内および中国、韓国向けが好調に推移しました。

医薬品原薬・中間体は、国内新薬メーカーからの新規



受託、医薬品上市による中間体の販売、ジェネリック医薬品原薬の輸入販売が堅調に推移したことに加え、高薬理活性設備を用いたジェネリック医薬品原薬の提供を開始しました。

以上の結果、機能化学品の売上高は430億5百万円と前期比5.7%の増加となりました。

大阪ソーダグループのセグメントと主要製品

●セグメント

基礎化学品

●主要製品

かせいソーダ、塩酸、液化塩素、塩素ガス、次亜塩素酸ソーダ、亜塩素酸ソーダ、塩素酸ソーダ、かせいカリ、水素ガス、エピクロルヒドリン、アリルクロライド、塗料原料、接着剤原料など

機能化学品

アリルエーテル類、エピクロルヒドリンゴム、アクリルゴム、ダップ樹脂、ノンフタレート型アリル樹脂、省エネタイヤ用改質剤、医薬品精製材料、カラム・装置等分析機器、レンズ材料、感光性樹脂、カラーレジスト、電極、医薬品原薬・中間体、光学活性体、グラスファイバー、資源リサイクルなど

住宅設備ほか

ダップ加工材、住宅関連製品、健康食品、化学薬品の輸送・貯蔵、化学プラント、環境保全設備建設など

機能化学品の川下事業をグループ会社を活用し積極的に展開



合成ゴム

耐熱性、耐油性、低温特性など物性バランスに優れたエピクロルヒドリンゴム、アクリルゴムなどの合成ゴムを製造しています。これらの特性を活かし、自動車用燃料ホースなどのゴム部品に使用されています。



エピクロルヒドリンゴム



アクリルゴム



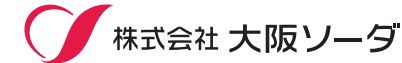
株式会社 **INBプランニング**

自動車・産業用機械などで使用されるゴム部品の原料となるゴムコンパウンドの技術、ならびに製造設備を保有しています。加えて、各種ゴムシート・マットなどのゴム成形品も製造しています。

合成ゴム製造技術とコンパウンド技術の融合

相互で事業の拡大を加速

ゴム、樹脂コンパウンド技術を活用することにより、当社の合成ゴムを使用した新たなゴム成形品を顧客へ提供します。



医薬品精製材料

液体クロマトグラフィー用シリカゲルは豊富な製品ラインアップと、きめ細やかな技術サービスを行い、グローバルに展開しています。医薬品をはじめ、化粧品や機能性食品などの分析や分取精製に使用されています。



ダイソーゲルの顕微鏡写真



液体クロマトグラフィー用カラム



サンヨーファイン医理化テクノロジー株式会社

化粧品開発で培った粉体表面処理技術を応用した優れた分離特性と高い耐久性を持つ分析用カラム充填剤および高性能な分析装置を製造しています。

両社の技術を相互活用し、さらなるシェアアップを実現

両社の製造・開発技術を融合させることにより、新たな精製材料を創出します。液体クロマトグラフィー用シリカゲルからカラム・装置まで一貫生産の実現により、多様化する顧客ニーズに対応します。



ナノスペース

グループ会社ご紹介

近年、当社グループの一員に加わった各社をご紹介します。

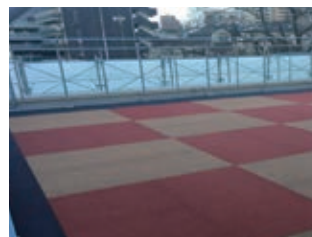
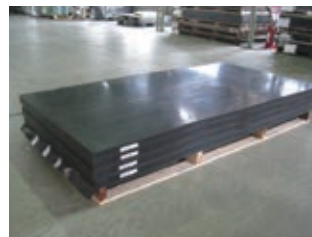
日東化工株式会社

2018年3月に三菱ケミカル(株)から株式を取得し、大阪ソーダグループに加わりました。

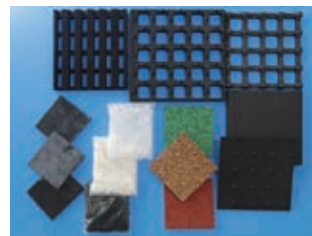
ゴム分野では、コンパウンドおよび産業用シート、機能性ゴムマット、成形品などの事業を行っています。

また、樹脂分野では、高機能洗浄剤、制電性樹脂などの樹脂製品および樹脂コンパウンド事業を行っています。

今後は、(株)大阪ソーダの合成ゴム製造技術と日東化工(株)のコンパウンド技術や成形加工技術と組み合わせることにより、新たなビジネスの創出を目指してまいります。



ゴムマット



各種ゴム製品



成田空港 第三ターミナル 設計：日建設計

サンヨーファイン医理化テクノロジー株式会社

2017年12月に、(株)資生堂よりクロマトグラフィー事業を譲り受け、液体クロマトグラフィー用分析カラム(商品名:カプセルパック)および分析装置(商品名:ナノスペース)の製造・メンテナンス事業をスタートしました。

カプセルパックは、粉体表面処理技術(ポリマーコート技術)が高く評価され、広く分析や分取精製に使用されています。また、ナノスペースは特に中国・韓国において市場認知度も高く、公的機関で医薬品・食品・化粧品分析などに使用されています。

今後は(株)大阪ソーダや三耀精細化工品銷售(北京)有限公司との連携を高め、ヘルスケア事業の発展に取り組んでまいります。



サンヨーファイン医理化テクノロジー



カプセルパック

三耀精細化工品銷售(北京)有限公司

2017年12月に、(株)資生堂より中国でのカプセルパックおよびナノスペースの販売事業を継承し、新会社としてスタートしました。

北京にある本社をはじめ、上海、広州にも事務所を構え、現地の顧客ニーズに対応可能な技術サービス体制を整備するなど、現地需要の取り込みを行ない、シェアアップを図ってまいります。



研修センター外観(北京)



三耀精細化工品銷售(北京)

連結財務諸表

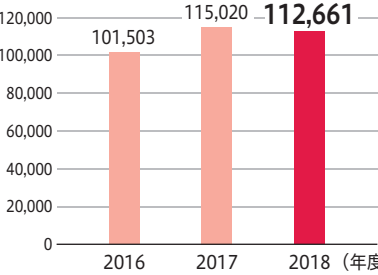
連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

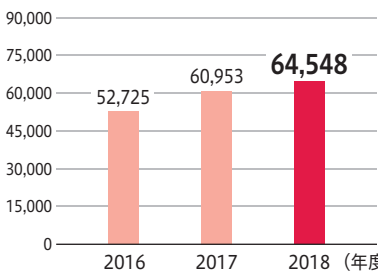
科 目	前連結会計期末 (2018年3月31日現在)	当連結会計期末 (2019年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	66,060	68,219
固定資産	48,959	44,442
有形固定資産	23,595	21,962
無形固定資産	1,599	1,338
投資その他の資産	23,764	21,141
資産合計	115,020	112,661
負債の部		
流動負債	33,206	32,197
固定負債	20,859	15,915
負債合計	54,066	48,113
純資産の部		
株主資本	52,938	59,080
その他の包括利益累計額	8,015	5,467
純資産合計	60,953	64,548
負債純資産合計	115,020	112,661

『『税効果会計に係る会計基準』の一部改正』等を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示。当改正を遡及適用し、18/3月末の金額を変更しております。

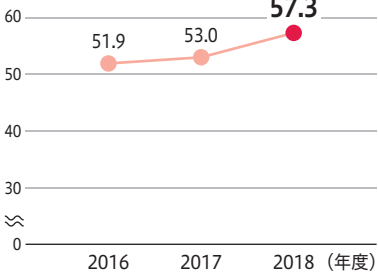
総資産 (単位:百万円)



純資産 (単位:百万円)



自己資本比率 (単位:%)

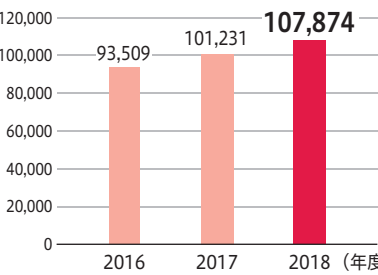


連結損益計算書(要約)

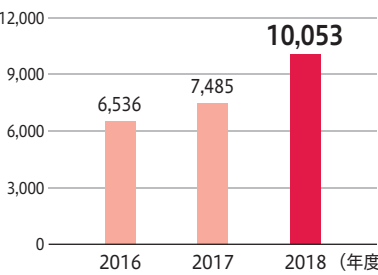
(単位:百万円)

科 目	前連結会計期間 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)	当連結会計期間 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)
売上高	101,231	107,874
売上原価	81,417	84,783
売上総利益	19,814	23,090
販売費及び一般管理費	12,495	13,601
営業利益	7,318	9,488
営業外収益	500	804
営業外費用	333	239
経常利益	7,485	10,053
特別利益	106	139
特別損失	666	387
税金等調整前当期純利益	6,924	9,805
法人税、住民税及び事業税	2,035	3,133
法人税等調整額	110	△121
当期純利益	4,778	6,793
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	4,778	6,793

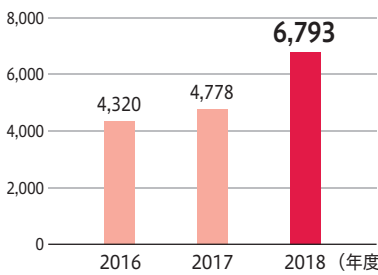
売上高 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する
当期純利益 (単位:百万円)



連結財務諸表

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

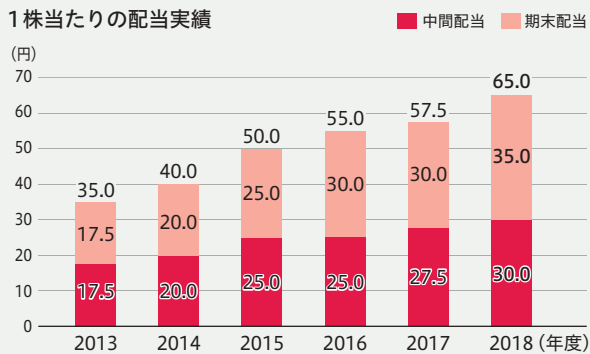
(単位:百万円)

科 目	前連結会計期間 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)	当連結会計期間 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,757	9,854
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,398	△4,542
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,097	△5,003
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	74
現金及び現金同等物の増減額	3,460	382
現金及び現金同等物の期首残高	20,532	23,993
現金及び現金同等物の期末残高	23,993	24,376

配当について

1. 期末配当金 1株当たり35円(年間65円)
2. 支払開始日 2019年6月10日(月)

2017年10月1日付で株式併合(5株を1株に併合)を行っており、2013年度の期首に株式併合が行われたものと仮定して配当金を計算しております。



株式情報(2019年3月31日)

株式の状況

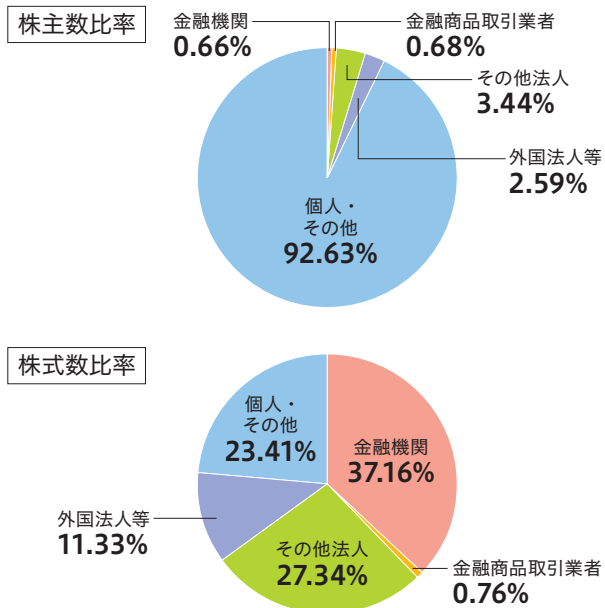
発行可能株式総数 ----- 60,000,000株
発行済株式の総数 ----- 26,090,580株
株主数 ----- 4,829名

大株主一覧(上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,531	6.63
株式会社三菱UFJ銀行	876	3.79
株式会社福岡銀行	822	3.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	775	3.35
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	768	3.32
株式会社伊予銀行	748	3.24
帝人株式会社	678	2.93
株式会社みずほ銀行	669	2.90
日本生命保険相互会社	637	2.76
ダイソー協栄会	597	2.58

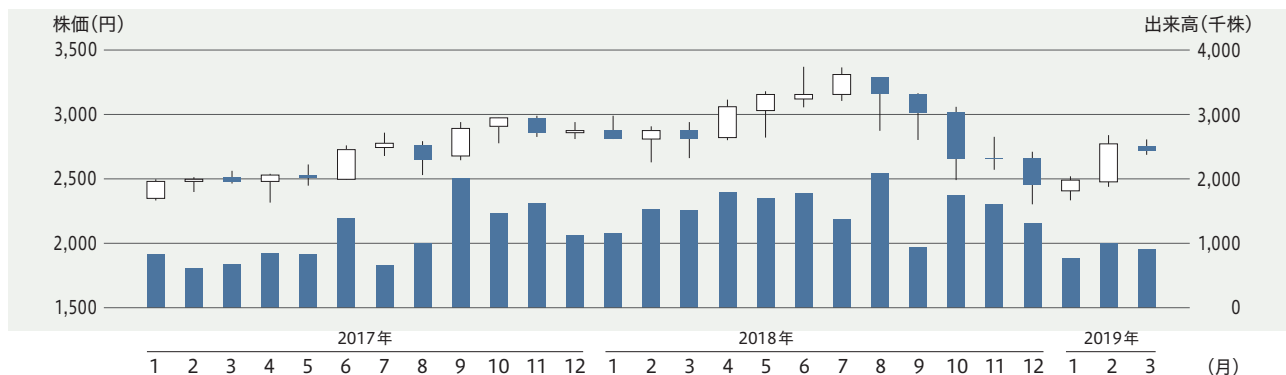
(注) 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(3,001,554株)を控除して計算しております。

株主分布状況



(注)「個人・その他」には、当社の自己株としての保有分(11.50%)が含まれております。

株価および出来高の推移



(注) 当社は2017年10月1日で普通株式5株を1株の割合で株式併合しています。これにともない2017年1月1日に株式併合をしたと仮定して株価、出来高の推移を表示しております。

会社概要(2019年3月31日)

社 名 ----- 株式会社大阪ソーダ
OSAKA SODA CO., LTD.
U R L ----- <http://www.osaka-soda.co.jp/>
創 立 ----- 1915年(大正4年)10月26日
資 本 金 ----- 15,150百万円
連結従業員数 ----- 970名

関係会社の状況

国内

会 社 名	主要な事業内容
ダイソーケミカル(株)	化学製品の販売
ダイソーエンジニアリング(株)	電極の製造・販売、化学設備の設計・施工
サンヨーファイン(株)	医薬品原薬・中間体の製造・販売
(株)ジェイ・エム・アール	資源リサイクル
DSロジスティクス(株)	化学製品の運送取扱い
岡山化成(株)	化学製品の製造
サンヨーファイン医理化テクノロジー(株)	カラム・装置等分析機器の製造
DSウェルファーズ(株)	健康食品素材の製造、加工販売
日東化工(株)	ゴム製品・樹脂製品の製造・販売
(株)INB プランニング	ゴムコンパウンドの製造・販売

海外

会 社 名	主要な事業内容
三耀精細化工品銷售(北京)有限公司	カラム・装置等分析機器の販売
DAISO Fine Chem USA, Inc.	医薬品精製材料の製造・販売
DAISO Fine Chem GmbH	医薬品精製材料・機能化学品等の販売
大曹化工貿易(上海)有限公司	機能化学品・電子材料等の輸出入
台灣大曹化工股份有限公司	機能化学品・電子材料等の輸出入
DAISO CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.	機能化学品・電子材料等の輸出入

役員(2019年6月27日)

[取締役・監査役]

代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員	寺 田 健 志
取 締 役 常 務 執 行 役 員	堀 登
取 締 役 上 席 執 行 役 員	古 川 喜 朗
取 締 役 上 席 執 行 役 員	小 西 淳 夫
取 締 役(社外)	二 村 文 友
取 締 役(社外)	百 嶋 計
常 勤 監 査 役	瀬 川 恭 史
常 勤 監 査 役(社外)	谷 口 隆 治
監 査 役(社外)	森 真 二

[執行役員]

常 務 執 行 役 員	赤 松 伸 一
上 席 執 行 役 員	植 田 祥 裕
執 行 役 員	平 井 直
執 行 役 員	門 屋 純 一
執 行 役 員	北 井 桂 司

大阪ソーダグループのネットワーク(2019年3月31日)

●国内拠点・研究センター
●生産拠点

